

小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画

計 画 年 度	令和5年度	部 会 名	その他施設ごみゼロ化行動推進部 会
会 長 名	(職名) ごみ対策課長	(氏名) 今井 哲也	
対象とする施設名称	その他の施設		
廃棄物の減量目標	35,240kg		
資源化率の目標	62.6%		
計画年度における取組			
<p>1 市施設ごみゼロ化行動基本計画 行動計画に定める事項</p> <p>(1) 廃棄物の減量目標 36,720kg ⇒ <u>35,240kg</u> (令和3年度実績から1,480kg減)</p> <p>(2) 廃棄物の資源化率の目標 59.6% ⇒ <u>62.6%</u> (令和3年度実績の3%増)</p> <p>2 ごみゼロ化実施計画目標を達成するための具体的な取り組み</p> <p>(1) 食事及び食事容器等の発生抑制について</p> <p>① マイ箸、マイスプーン、マイフォーク、マイボトル、マイバッグ等の使用</p> <p>② 繰り返し使用できる容器の弁当の購入を検討する。</p> <p>③ 購入した弁当の容器は出来るだけ自分で持ち帰る。</p> <p>④ 食べ切ることのできる量を購入し、食品ロスを発生させない。</p> <p>⑤ マイボトル専用給水機の利用 (一部施設)、ペットボトル等飲料容器の持ち帰り。</p> <p>(2) 紙資源について</p> <p>① ダイレクトメールやちらしなどは出来るだけ断るようにする。</p> <p>② 紙の分別を徹底する。</p> <p>③ 電子メールの使用など紙を使わない方法を選択する。</p> <p>④ 使用済みの紙・ミスプリント紙の再利用を徹底する。</p> <p style="text-align: center;">※個人情報及び機密情報が記載されていないか重々確認してください。</p> <p>3 目標を推進する職員の心構え</p> <p style="text-align: center;">排出量及び資源化率のどちらも前年度の目標を達成できなかった。全国的にもトップクラスの家庭ごみの減量に貢献いただいている市民の皆さんのご努力に対</p>			

し、市職員としても応えられるよう、職員一人ひとりがごみの発生抑制を自覚し行動していくことが大切である。一部施設ではウォータースタンドを設置しているため、職員一人ひとりがマイボトルの利用を心掛ける等ごみの発生抑制に積極的に取り組んでいくと共に、できるだけ資源化ができる様、意欲的に取り組みをしていく必要がある。